

一般質問通告書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則62条第2項の規定により通告します

2022年5月30日

議席番号 25番

東村山市議会議長 あて

質問者 さとう直子

記

少子高齢化が進み、その対策が喫緊の課題とらえ、その対策をどのように進めていくのか、少子化対策として安心の子育てのために「就学援助」の拡大、「幼保無償化」の対象外となっている就学前の子どもを対象とした東村山の方向性、そして高齢化の中で高齢者の生活をどのように支え、守っていくのか。介護保険制度ができて本当に安心して老後の生活ができるのか、できているのか今一度見つけなおしてみたいと考え以下質問します。

1. 就学援助の拡大について

1) 就学援助の対象品目

- ① 国の就学援助の対象品目を伺う
- ② ①の対象品目のうち当市で対象となっていない品目はあるか、あればその内容を伺う
- ③ 支給対象の品目で費用の支給が行事の実施後となっているものにはどのようなものがあるか伺う
- ④ 平成17年度の税源移譲によって対象から外された品目はあるか伺う

2) 就学援助の認定状況

- ① 就学援助の認定数と認定率を2013年度から経年で小学校、中学校それぞれで伺う
- ② 2018年度の生活保護基準の変更に要る影響が出ないよう通知が出ているがどのような対策をとったのか伺う
- ③ 就学援助を申請する際の基準となる収入を所得に変更することは検討されたか伺う
- ④ 立川市では2年前から基準を収入から所得に変更している。変更前の収入基準も生活保護の1.5倍(所得では1.0倍)であった。当市は1.4倍(生活保護基準の1倍にも満たない)であるから当市は対象が狭められていることになるが、このことについてどのように考えるか見解を伺う
- ⑤ 以前に東大和市との比較で、基準を所得にすることにより、世帯収入で100万円の差が出ることを伝えた。100万円の収入の差はより多くの世帯への利用の拡大につながるかと考える。再度、基準を所得に変更することについて見解を伺う
- ⑥ コロナで経済の落ち込んでいる中、物価の急騰で市民生活が厳しい状況にある。一人でも多く

就学援助を利用することができるよう、就学援助の案内でも、よりわかりやすい周知方法の検討について見解を伺う

- ⑦ これまで世田谷区の「給食費のみ認定」の実施により就学援助の対象者の 2 割が利用している実態を踏まえ、当市の就学援助利用者の 2 割と仮定した予算額も 1500 万円程度と試算し提案しています。東村山の未来を担う子どもたちの健全な成長のためにも、費用とする家庭に就学援助を行き渡らせるためにも「給食費のみ認定」の検討について見解を伺う

2. 子育て支援に民族差別のない東村山を

- ① 2021 年 12 月議会において「全会一致」で採択された文科省の新たな「子ども子育て支援事業」の実現を求める陳情について議会への報告がないがどのように検討したのか伺う
- ② 他市では実施されていることが実施されない理由を伺う
- ③ 「誰一人取り残さない」社会の実現は、SDGs の理念であり、第 5 次総合計画にも打ちだされている。一日も早い実施を求めるが、見解を伺う

3. 介護保険を利用しやすく安心の老後を

1) 基金残高

- ① 基金残高は 2015 年 3 月末、5 億 9428 万円余りで 2021 年 3 月末は 17 億 4300 万円と大きく増加している介護保険制度では 3 年ごとの見直しが行われることになっているが、この基金の増加をどのように認識しているか伺う
- ② 基金残高が増加している要因として各期ごとの計画と実績の乖離があると考えますが、3 年ごとにどのような総括をしているのか 6 期以降について伺う
- ③ 制度維持のため、適正な額を基金とすると繰り返し答弁されてきたが、適正な額とはいくらか根拠も併せて明確にお答えいただきたい

2) 介護認定数

- ① 高齢者人口は増えているが、介護認定数・割合は高齢者人口の増加率に比例していないと考えるがこのことをどう認識しているか伺う

3) 入所施設について

- ① 介護老人福祉施設(特別養護老人施設)について、2022 年 4 月現在、市内に何か所、何床あるか伺う
- ② ①の施設の待機者数を 5 年経年で伺う
- ③ 今後、施設の誘致の予定はあるか伺う
- ④ 100 床規模の施設を誘致したら、市の負担はいくらになるか伺う